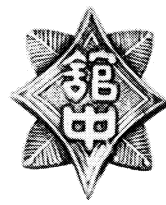


わが校のほこり



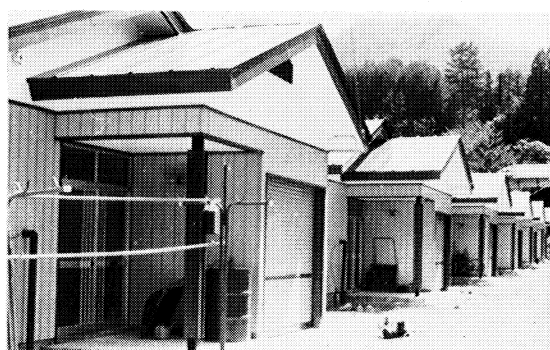
館岩村立

館岩中学校



山ふところに抱かれた校舎（後方はスキー場）

本校は福島県の西端南会津郡の西部
帝釈山・田代山の麓に位置し（標高六
百八十三メートル）周囲を山々で囲ま
れ、南は栃木県と接している。学級数
六、生徒数百五十九名の小規模校であ
る。冬の五か月は雪に閉ざされるが、
春から秋は小鳥の鳴き声と緑風に抱か
れ閑静で勉学にふさわしい環境である。
生徒は明るく純真であるが気力に欠
け、物事をよく考え、自主的に活動す
る態度に弱さがみられた。五十年度高
り、自主性を定着させることを目途と



ガレージ付きの職員住宅（独身用）



体力の向上・サーキットトレーニングコースの難所

して「自主性を育て、主体的な行動力
を身につけさせるためにはどうすれば
よいか」を研究主題として設定し、具
体的な指導の場として、特別活動を中心
に日常指導の強化に努め、行動化への
転移を図ってきた。以来、生徒の取り
組み方にも意欲があらわれ、活動も活
発化し、文化祭・校内球技大会・陸上
競技大会・スキー大会等が生徒会を中
心に企画運営され充実してきた。
校舎内外の環境整備は、生徒の自主
活動として推進され、美化・掲示コン

クールなどによって、「よごさない、
こわさない、ちらかささない」の三
ない運動は、意識化、行動化されてい
る。
一方、部活動も小規模校ながら、山
の子気魄で活躍、野球では五十年
度郡大会優勝、県大会出場以来会津大会の
常連出場校となっている。今年度は女
子剣道も会津大会に出場し大いに気を
吐いた。
地域の協力も積極的で、地域と学校
が一体となって能力の開発、学力の充
実、豊かな人間性の育成に努めている。



スクールバスや自転車による通学